

# 西馬城地域づくり協議会だより

第15号 平成28年7月  
発行：西馬城地域づくり協議会  
事務局 TEL・FAX 25-6828  
M.A. 25ne3i@bma.biglobe.ne.jp

～元気 やるき みんなで育てよう 豊かな西馬城～

## 公開講座「西馬城の歴史と文化財」が開催されます

先にお知らせしたように、「宇佐の文化財を守る会」の公開講座が西馬城で開催されます。今回は西馬城地域づくり協議会との共催という形をとることになりました。

西馬城の歴史と文化財についての講演の後、伊知の墓、生目神社のフィールドワーク(現地見学)を実施します。郷土の歴史や文化について知るよい機会だと思います。どうぞご参加ください。無料です。

日時 7月3日(日) 13:30～16:00 (15:00～フィールドワーク)

場所 西馬城小学校体育館

テーマ 「西馬城の歴史と文化財—文化財を地域づくりにどう活かすか—」

講師 小倉 正五 氏(別府大学講師、宇佐の文化財を守る会副会長、元宇佐市総務部長)

## 救急救命法の講習会のご案内

今年も、AED(電気ショックにより心臓の動きを整える装置)を用いた救急救命法の講習会を実施します。講師は宇佐消防署の救急救命士です。AEDの扱いは一度体験しておく、何かの時に役立つかもしれません。ぜひ、お気軽においでください。前回参加の方もおさらいのつもりでどうぞ。

なお、次回からは2年に1度の隔年実施となります。したがって来年は実施しません。

日時 7月1日(金) 14:25～15:55

場所 西馬城小学校研修室(体育館2階)

## 西馬城の7月行事

※お知らせしたい行事等がありましたら、20日までに事務局へ

日	月	火	水	木	金	土
					1 救急救命講習	2
3 「文化財を守る会」 公開講座	4	5 健診結果説明会	6 紙	7 七夕	8	9 土曜授業
10 参院選投票日	11 びん・ペットボトル	12 高齢者学級	13	14	15	16
17 岩屋観音の日	18 海の日	19	20 終業式	21	22	23
24	25 不燃ごみ	26	27	28 缶	29 宇佐神宮夏越祭	30 宇佐神宮夏越祭
31 宇佐神宮夏越祭						

# みんなで楽しんだチャレンジデー(初めての勝利)

5月25日のチャレンジデー、市内のいろいろな場所で連続15分以上運動の取り組みがされました。西馬城でも各公民館等で運動が実施されました。今年は宇佐市民の参加率が61.8%で、初めて対戦相手の市に勝利しました。これからも毎日、運動を楽しく続けられるといいですね。



上矢部公民館でのラジオ体操のようす



健康推進員の神田さんの模範演技?

## 伊知の墓(お伊知墓)について

お伊知さんは、今から300年ほど前に生まれました。嫁いだ家には体の弱い夫の弥兵衛、その弟の金六、目の不自由な義母がおり、4人で細々と暮らしていました。お伊知さんは、木枯らしの冬の日も、暑い夏の日も、山で採った薪を背負い山道を超えて宇佐の町まで売りに行き、そのお金で米や塩を買って帰りました。家に帰れば畑を耕し、夜は臼をつき、破れた着物を繕い、寝る暇もないほど一生懸命働き、一家を支えていました。

夫の弥兵衛は、そんなお伊知に対して心苦しく思い、「今まで本当によく尽くしてくれた。お前はまだ若いのだから実家に帰ってほかの男の嫁になって幸せになるんだ。」と言いましたが、お伊知は、「今まで仲良く暮らしてきたのにどうしてそんなことができましょうか。ここに置いてください。頑張ればきっと花の咲く日もありましょう。」と、病気の弥兵衛を慰めるのでした。

しかし、弥兵衛は、看病の甲斐なくやがて亡くなります。葬式の後、親戚の人たちがお伊知に対して、「弥兵衛も亡くなったことだし、もうこの家を出てかまわないよ。」と言いましたが、「目の見えないお義母さんや病の義弟を置いてこの家を出ることはできません。死ぬ時は3人一緒でも良いと思っています。お気持ちはありがたいのですが、どうかここにおらせてください。」ときっぱり言うのでした。そんな優しく義理堅いお伊知の評判は人から人へと伝わり、やがて中津藩主奥平昌邦侯の耳に入るのでした。(この続きは7月3日の公開講座へ)



薪を売りに行くお伊知さん(「いちものがたり」から)



西馬城小体育館の横にある伊知の墓